

令和2年9月号

今回報告の定例会は



たてやま議会だより

主な内容

- 議案の概要 2～7頁
- 一般質問等 8～13頁
- 議会通信等 14頁



未来に残したい館山の風景
～沖ノ島～

第2回臨時会

コロナ関連補正予算など7件
前澤友作館山応援基金条例等を議決

令和2年第2回臨時会は、4月28日に開催され、市長提案の議案7件の審議を行い、前澤友作館山応援基金条例の制定や、69億8千万円規模に及ぶ新型コロナウイルス感染

症経済対策等の一般会計補正予算について、原案どおり全会一致で可決しました。主な議案の内容は、次のとおりです。

原案可決



◇議案第29号 前澤友作館山応援基金条例の制定について

前澤氏からのふるさと納税20億円の寄附に関して、観光振興や新型コロナウイルス感染症対策に係る地域産業を下支えする事業者の保護に資することを目的として、新たに基金を設置するものです。

◇議案第30号 館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策として、中小企業者

に対する運転資金及び設備資金への融資について、融資後3年以内の期間、保証料と利子の全額を補給し、かつ、返済元金の10%を助成する特例措置を行うものです。

◇議案第31号 令和2年度館山市一般会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルス感染症による影響への経済対策等として、歳入歳出それぞれ69億8千108万6千円を追加し、総額268億7千908万6千円とするものです。歳出の主な内容は、次のとおりです。

民生費／特別定額給付金

費(46億1千72万2千円) 国による新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴い、市民の生活支援に対する

給付金を支給するものです。

商工費／新型コロナウイルス対策費(3億6千105万)

円) 市内中小企業者の資金繰りを支援する中小企業融資事業(2億5千905万円)、市内飲食店や宿泊事業者を支援する飲食・宿泊事業者支援事業補助金(200万円)、千葉県が実施する中小企業再建支援金を活用した事業者に対して、上乗せ助成を実施する中小企業等事業所家賃支援助成金(1億円)を実施するものです。

諸支出金／前澤友作館山応援基金(20億円)

前澤友作館山応援基金の新設に伴い、館山市観光振興基金の一部を新基金へ移行し、20億円を増額するものです。

第3回臨時会

特別職給料・議員報酬を削減
臨時特別給付金等
一般会計補正予算を議決

令和2年第3回臨時会は、5月18日に開催され、市長提案の議案7件及び、議員

提案による発議案1件の審議を行い、原案どおり全会一致で可決しました。主な

原案可決

議案の内容は、次のとおりです。

◇議案第32号 館山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◇議案第32号 館山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、現下の厳しい社会経済情勢に鑑み、令和2年6月1日から令和3年3月31日までの間、特別職である市長、副市長及び教育長の給料を10%削減するものです。

館山市一般会計補正予算(第2号)

館山市一般会計補正予算(第2号) 新型コロナウイルス感染症による影響への経済対策等として、歳入歳出それぞれ6千168万3千円を追加し、総額269億4千76万9千円とするものです。歳出の主な内容は、次のとおりです。

◇議案第37号 令和2年度

◇議案第37号 令和2年度
民生費／子育て世帯への臨時特別給付金費(6千247万9千円) 国による新型コロナウイルス感染症緊急経

◇発議案第2号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◇発議案第2号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
新型コロナウイルス感染症対策費の財源確保のため、令和2年6月1日から令和3年3月31日までの間、議員報酬を5%削減するものです。

6月定例会

コロナ対策 消費喚起・災害備蓄等 一般会計補正予算を議決

令和2年6月定例会は6月9日に招集され、6月26日までの18日間の会期で開催し、市長提案の条例議案6件、一般議案2件、補正予算4件を審議しました。新型コロナウイルス対策関連の補正予算2件は定例会初日に先議し、原案どおり可決しました。

各委員会の審査結果の報告を経て、追加議案として提案された人事案件とともに審議を行いました。
慎重審議の結果、原案どおり全会一致で可決しました。主な議案の内容は、次のとおりです。

原案可決

感染症による影響への経済対策の一環として創設させた、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の事業として、歳入歳出それぞれ2億1千722万8千円を追加し、総額271億5千799万7千円とするものです。歳出の主な内容は、次のとおりです。



総務費／新型コロナウイルス感染症予防対策事業(1千449万4千円) 災害時の避難所運営において、感染拡大を防止するための段ボールついたて(200セット×11か所)や要援護者等に対応したエアベッド(100台)、毛布、簡易トイレ、大型扇風機、発電機等の必要な備蓄品等を各避難所の収容能力等に応じて整備及び配備するものです。
これらを配備する避難所は、市内各小学校9か所及び旧神戸小、旧富崎小の各体育館等を予定しています。

総務費／防災行政情報配信設備統合改修事業(4千85万円) 現行の防災行政無線、安全安心メール、ヤフー防災速報、安心電話、安心テレフォンによる情報伝達手段を統合し、ワンオペレーション化により迅速かつ正確に感染症予防や注意喚起、防災情報を配信するシステムを構築するものです。

衛生費／新型コロナウイルス感染症予防対策事業(1千714万7千円) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、公共施設の環境整備を行うとともに、医療や介護施設等の関係機関に対し衛生用品を提供できるように整備するものです。

商工費／キャッシュレス決済ポイント還元事業(3千万円) 落ち込んだ市内経済の早期回復を図るため、市内商店等でキャッシュレス決済をした場合に決済金額の20%をポイントに還元する事業への補助を行うものです。

◇議案第39号 令和2年度 館山市一般会計補正予算(第3号) 新型コロナウイルス

◇議案第39号 令和2年度 館山市一般会計補正予算(第3号) 新型コロナウイルス

継続議案10件と請願3件については、所管する常任委員会に審査を付託し、最終日に

常任委員会

所管する部門の事務に関する調査や、付託を受けた議案・請願などを審査します。

総務

総務委員会には、5件の議案が付託され、慎重審議の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。主な議案の内容と質疑応答は、次のとおりです。

◇議案第43号 館山市消防

団条例の一部を改正する条例の制定について 消防団員が消防団活動に従事した場合に支給する費用弁償額について、団員の労力を鑑み、団長の命令による特定の災害出勤等に4時間以上従事した場合に、費用弁償額を増額するものです。

問 近隣市との比較について伺います。

答 館山市は1千800円、南房総市は1千700円、鋸南町は1千100円、鴨川市は600円と聞いています。

◇議案第49号 令和2年度

館山市一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ5億2千606万6千円を追加し、総額27億8千406万3千円とするものです。歳出の主な内容は、次のとおりです。

総務費／市街地循環バス実証運行事業(1千288万円) 市街地における回遊性や利便性の向上を図るとともに、新たな交通需要を掘り起こし、持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークを構築するため、市街地を回

遊する循環バスを実証運行するものです。

問 本格的な運行に移行するため、事前に目標値を決めていますか。

答 今後、館山市地域公共交通会議等で議論することになります。学識経験者からの助言や、県内のコミュニティバスの状況から、収支率20%を一つの目安にしています。

教育費／GIGAスクール整備事業(1億9千97万2千円) 児童生徒のために、一人1台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境等

を整備し、個別最適化された創造性を育む教育を目指すGIGAスクール構想を実現するものです。

問 事業計画及び構想全体の事業規模について伺います。

答 現時点では、今定例会で高速ネットワーク環境整備の補正予算案が議決後、業者選定の入札準備を進め、今年度中の整備を目指しています。

次回の定例会で、リースによる一人1台のタブレット端末の整備費として、約4億8千万円を予定しています。

文教

文教民生委員会には、5件の議案と2件の請願が付託され、慎重審議の結果、全員一致をもって原案どおり可決、採択するものと決しました。主な議案の内容と質疑応答は、次のとおりです。

◇議案第45号 館山市立中

学校設置条例の一部を改正する条例の制定について 令和3年4月1日に予定している館山市立第二中学校と第三中学校の統合に関し、校名案が「館山市立館山中学校」と決定したこと及び現在の第三中学校校舎跡地に新

校舎が完成するまでの間、現在の第二中学校校舎を使用することから、統合に関する中学校の名称及び位置について改正するものです。

問 新中学校開校のための決定事項に、保護者や生徒は参加するののか、保護者負担が発生するののか伺います。



答 現在、統合準備委員会に保護者にも参加いただき、制服のデザイン等については、保護者や生徒にアンケートを行ってまいります。ジャージは新たなものを制作するよう準備を進めているが、現在の一年生、二年生には買い替えを求めず、大きな金銭的負担を与えようとは考えていません。

◇請願第3号「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

討論 すべての子どもに等しく、義務教育の機会が与えられることは必要であり、日本社会の中で収入の格差が広がる中、教育の機会均等を守る上でも、義務教育費の国

庫負担制度は堅持されなければならぬと考えることから賛成する、との討論がありました。

◇請願第4号「国における2021年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

討論 昨年の台風災害に加え、今年の新型コロナウイルス感染症により、子どもたちの学ぶ環境は大きく影響され、学びを保障するためにも教育予算の拡充は必要だと考えることから賛成する、との討論がありました。

建設経済

建設経済委員会には、1件の請願が付託され、慎重審議の結果、全員一致をもって採択するものと決しました。請願の概要と質疑応答は、次のとおりです。

請願第5号「山本地区の溢水対策に関する請願」

問 当該地域は、溢水(いっすい)による農作物への被害が大きく、今までに、どのような対応を行ってきたか伺います。

答 県管理の下流部分は、境川の未改修箇所を整備を県へ要望しており、今回、要望のあったJR軌道下の改修は、こうした下流部分の溢水対策をした上でないと改修ができません。

これまで、川底の掘り下げ工事や、境川に流入する排水の一部を道路整備に伴

追加議案

6月定例会の最終日には、各委員会に付託した議案及び議員提案による発議案に加え、一般会計補正予算に関する追加議案及び農業委員会委員等の人事案件について審議し、原案どおり可決、同意しました。主な議案と討論の内容は次のとおりです。

◇議案第51号 令和2年度館山市一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出それぞれ3億6千297万2千円を追加し、総額280億4千703万5千円とするものです。

歳出の主な内容は次のとおりです。

円、プレミアム率20%)を支援・補助するものです。

教育費/統合中学校整備事業(4千225万円) 令和3年4月の統合中学校の開校にあたり、教室等の修繕、駐輪場の整備など、第二中学校の整備改修を実施するものです。

商工費/中小企業融資事業(2億5千482万2千円) 市内中小企業者の資金繰りを支援するための館山市中小企業融資制度について、利用件数の増加が見込まれるため、融資枠を拡大し継続した支援を実施するものです。

さて新設した水路に流すことによる負荷軽減、境川の上流にある大宮堰の一時貯留機能を高めるために堆積土の除去を定期的に行っています。

討論 当該地域は、新興住宅も多い一方で、過去に幾度となく大雨、増水による被害を受けており、農業被害の軽減と安全な生活環境の整備の両面により、一日も早い溢水対策が必要だと考えることから賛成する、との討論がありました。

商工費/プレミアム商品券事業支援補助金(6千530万円) 市内経済の早期回復を図るため、館山市商業協同組合が実施する域内消費を喚起するプレミアム商品券事業(販売額3億

◇発議案第3号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書について 請願第3号の趣旨による。

◇発議案第4号 「国における令和3年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書について 請願第4号の趣旨による。

◇発議案第5号 山本地区の溢水対策に関する請願について 請願第5号の趣旨による。

議案第45号討論

反対討論(室 厚美議員)

平成26年に三中の耐震不足が判明し、その4年後に基本設計が予算に計上され、その時点では中学校の学校再編は考えていないということでしたが、昨年5月に突然、統合方針が打ち出され、大きな混乱が生じました。本議案の上程の前に中学校再編計画をまとめるべきであったと考え、あえて反対します。

賛成討論(森 正一議員)

本来であれば、館山市学校再編調査検討委員会の答申から、学校再編の方向性を具体的に定めた上で、統合を進めていくべきと考えるが、生徒と教職員の命を守ることが最優先であり、現時点で考えられる最善策と考え、同委員会における検討と丁寧な統合を要望し、賛成します。

請願第3号討論

反対討論(石井 敏宏議員)

義務教育の充実という理念は同じですが、請願とは手段が異なり、義務教育費国庫負担という補助金は廃止し、同額を地方交付税に振り替え、地方の判断で同額を小中学校の教職員給与とすべきと考え、また、教職員の処遇改善等を求め、反対します。

令和2年第2回臨時会提出議案議決結果

(委員会付託なし)

議案番号	件名	議決結果
議案第25号	館山市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認 全会一致
議案第26号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認 全会一致
議案第27号	館山市介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認 全会一致
議案第28号	館山市観光振興基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第29号	前澤友作館山応援基金条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第30号	館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第31号	令和2年度館山市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致

令和2年第3回臨時会提出議案等議決結果

(委員会付託なし)

議案等番号	件名	議決結果
議案第32号	館山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第33号	令和元年台風15号及び19号並びに10月25日の大雨による被災者に対する令和2年度国民健康保険税の減免の特例に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第34号	令和元年台風15号及び19号並びに10月25日の大雨による被災者に対する令和2年度介護保険料の減免の特例に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第35号	館山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第36号	館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第37号	令和2年度館山市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
議案第38号	令和2年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
発議案第2号	館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致

令和2年第2回定例会提出議案等議決結果

議案等番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第39号	令和2年度館山市一般会計補正予算(第3号)	—	原案可決 全会一致
議案第40号	令和2年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	—	原案可決 全会一致
議案第41号	館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 全会一致
議案第42号	館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 全会一致
議案第43号	館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 全会一致
議案第44号	館山市・南房総市定住自立圏形成協定の締結について	総務	原案可決 全会一致
議案第45号	館山市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決 賛成多数
議案第46号	館山市心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決 全会一致
議案第47号	館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決 全会一致
議案第48号	指定管理者の指定について	文教民生	原案可決 全会一致
議案第49号	令和2年度館山市一般会計補正予算(第4号)	総務	原案可決 全会一致
議案第50号	令和2年度館山市介護保険特別会計補正予算(第1号)	文教民生	原案可決 全会一致
議案第51号	令和2年度館山市一般会計補正予算(第5号)	—	原案可決 全会一致
議案第52～60号	館山市農業委員会委員の任命について	—	原案同意 全会一致
議案第61号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	原案可決 全会一致
議案第62号	館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	原案同意 全会一致
発議案第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	—	原案可決 賛成多数
発議案第4号	国における令和3年度教育予算拡充に関する意見書について	—	原案可決 全会一致
請願第3号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	文教民生	採択 賛成多数
請願第4号	「国における2021年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	文教民生	採択 全会一致
請願第5号	山本地区の溢水対策に関する請願	建設経済	採択 全会一致

令和2年第4回臨時会提出議案議決結果

(委員会付託なし)

議案番号	件名	議決結果
議案第63号	令和2年度館山市一般会計補正予算(第6号)	原案可決 全会一致

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。

パワハラ対策

健全な職場環境の確保

第三者委員会の設置を



室 厚美議員
2期目・55歳・波左間
新しい風の会
総務委員会委員

問 職場におけるパワーハラ
スメント対策が事業主の義務
になりましたが、館山市とし
てはどのような方針で対応し
ているか伺います。

答 職場におけるパワーハラ
スメント防止に関する要綱を
整備しているところです。今後
とも、職員一人ひとりが自覚と
責任を持って職務に当たり、パ
ワーハラスメントのない風通
しの良い職場環境の形成に努
めていきます。

問 平成28年に改正された自
殺対策基本法において、市町
村に自殺対策計画の策定が義
務付けられました。館山市
の自殺防止対策計画の策定状
況について伺います。

答 関係各部署による庁内連
絡会議により、認識の共有を
図り現状の分析を行った上で、
自殺対策の基本方針や今後取
り組むべき内容などを盛り込
み、素案を取りまとめた状況
です。

自殺対策

社会づくりや地域 づくりとして推進を

もに、死因などを究明する第
三者委員会の設置を求める要
求書を市に提出しています。
健全な市役所の職場環境の
確保が、仕事効率の向上、ひい
ては市民の安心や信頼に繋が
るため、遺族が希望している
第三者委員会の設置を要望し
ました。

コロナ対策

中小企業への融資制度 独自の助成・活性化に期待



石井 敏宏議員
3期目・48歳・上真倉
たてやま21・緑風会
建設経済委員会委員長

今後、パブリックコメント等
を行い、自殺対策計画を策定
していきます。

解説 政府の自殺総合対策大
綱において、「自殺は個人の自
由な意思や選択の結果ではな
く、その多くが追い込まれた
末の死である」との基本認識
が示されています。自殺対策
を社会づくり、地域づくりと
して推進することを訴えまし
た。

問 館山市中小企業融資制
度事業ですが、周知方法、申
請件数と給付件数、そして申
請者の制度に対する評判を
伺います。また、接待を伴う
飲食業は制度の対象なので
しうか。

答 周知方法は館山市広報
紙、館山市ホームページ、地
元新聞に掲載するなど、多く
の人に知っていただけるよ
う周知を図っており、各金
融機関においても、積極的に
地元中小企業者に営業を行
っていたりしていることか
ら、申請件数が増加している
状況です。

申請件数については、6月
3日時点で176件の申請
があり、そのうち千葉県信用
保証協会の保証決定を受け
て、館山市が決定した件数は
41件となっています。

融資制度に対する評判に
ついて事業者からは「返済元
金の10%を助成してくれる
のは非常にありがたい」とい
った意見や、金融機関の担当
者からは「この融資制度は好
評なので、さらに融資枠を広
げてほしい」といった意見を
伺っています。

解説 この館山市独自の融
資制度は「10%の助成」が付
くのがメリットです。また、
スナックなども融資の対象
となりました。



海水浴場
安全対策

海水浴場の安全対策と
幅広い事業者への支援を



佐野 聖一議員
1期目・45歳・波左間
市民クラブ
総務委員会委員

問 今夏の海水浴場を不開設とすることを決定した経緯、理由は何でしょうか。

答 例年であれば3月中旬に海水浴場開設期間を決定し、新年度当初より海水浴場開設に向けて準備を行います。

今年度においては3月頃から新型コロナウイルス感染症が全国に拡大し、海水浴場開設の準備を行う段階にお



立ち入り禁止となった沖ノ島入口

いて、非常に厳しい状況となりました。

来場者、館山市民、また監視にあたるライフセーバーの健康と安全を最優先に考えた結果、苦渋の決断ではありますが、安全・安心な海水浴場の開設は困難であると判断し、不開設とすることを決定しました。

問 不開設とすることにより、発生する事への対応策はありますか。

答 海水浴場を開設しなくても、一定数の方が訪れると想定され、その対策が必要であると考えています。遊泳区域が設定されていない状況では、遊泳者と水上オートバイ、ウインドサーフィンなどの利用者が混在することによる事故が懸念されます。

安全確保については、通常の監視業務は実施できませんが、ライフセーバー自身の安全確保を第一に、可能な範囲での海辺での呼びかけや注意喚起が出来ないか現在

協議を行っています。

また、駐車場の利用方法、海岸への車両乗り入れなどの問題もあり、海岸管理者である千葉県と連携して事故防止の対策をする必要があると考えています。

解説 海水浴場の不開設により、守られる安全と、新た

山応
援基金

前澤友作館山応援基金
将来を見据えた事業への活用を



榎本 祐三議員
5期目・74歳・笠風会
たてやま21・緑風会
総務委員会委員

問 ふるさと納税を受けてから半年が経過しているが、基金の活用についてはどのような検討結果になりましたか。

答 観光振興へという前澤氏の思いも考慮し、館山市基本構想に位置付けている食のまちづくり事業と館山夕日桟橋の機能強化として、館山港湾振興ビジョンに示されたフルスペック化の促進に要する市の負担金等に活用していく

に導入が必要な安全対策。この難局を乗り越えるためには関係機関が一つとなり対応することだと思えます。

また、地域経済にも大きな影響があることから、幅広い関係事業者への支援策を検討するよう要望いたしました。

こととしました。

解説 前澤氏のふるさと納税については、市民はもとより全国的に関心が高く、持続可能な館山市を構築するために、将来を見据えた施策や事業に活用されるべきと考えており、今後とも注視していきます。

地域経済対策

問 新型コロナウイルス感染症の対応で疲弊した地域

地域の特性を活かした
プレミアム商品券の導入を

経済を回復させる取組が必要と考えるが、どのように考えていますか。

答 前澤友作館山応援基金を活用した市内中小企業への融資制度の拡充や家賃支援等を実施し、雇用の維持や事業の継続を支援しています。

また、クラウドファンディングを活用した取組やポイント還元が受けられるキャッシュレス決済ポイント還元事業等にも取組んでいます。

一方、館山市商業協同組合からプレミアム商品券事業の要望もいただきましたので、実施について検討していきたいと考えています。

解説 館山市のような高齢者の多い地方では、都会のようなキャッシュレスの取組は容易ではないことから、プレミアム商品券事業を強く要望しました。

特に一人10万円の特別定額給付金が支給されることから、この一割でも活用されれば大きな経済効果になると思っております。



中学校
統合

新校舎建設と統合 生徒の命を守ることが最優先

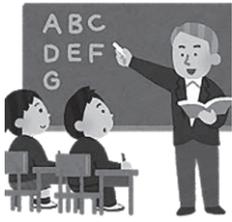


森 正一議員
3期目・53歳・八幡
たてやま21・緑会
文教民生委員会委員

問 新校舎の建替えと統合スケジュールに遅れが生じていないか伺います。

答 建替えに向けた実施設計業務の入札を実施し、業務の委託契約を締結したところであります。また、二中と三中の統合については、本会議で館山市立中学校設置条例の一部改正条例議案を提出しており、令和3年4月の統合に向け、スケジュールに遅れが生じないように準備を進めていきます。

解説 現時点では、建替え・統合準備ともにスケジュールの遅れは生じていないとのこと



問 新給食センターは、いつから稼働できる見通しなのか伺います。

答 令和元年台風15号及び19号の被害による工事の遅れに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による建築資材や設備の調達等に影響が出てお

学校給食センター

保護者の負担を解消 早期に給食再開を

とですが、今後予想される新型コロナウイルス感染症拡大の第2波、第3波により、スケジュールに遅れが生じる可能性もあります。耐震不足の三
中校舎から二中校舎に学校生活の場を移し、生徒や教職員の命を守ることが最優先であり、学校規模が大きくなることを踏まえた新型コロナウイルス対策を万全に行いながら、当初の予定通り新校舎の建設と統合を完了して頂けるよう要望しました。

地域経済対策

食の流通拠点に大きな期待 新たな成長戦略の構築を



龍崎 滋議員
3期目・66歳・広瀬
公明党・建設経済委
員会副委員長

り、新学校給食センターの完成時期についての見通しは立っていません。

解説 予定より2か月以上の遅れが生じており、建築資材や設備の調達等の目処も立っておらず、年内に給食を再開できるか不明な状況であり、

簡易給食を継続せざるを得ない状況です。

これからは食中毒が心配な季節となるため、その対策を取るとともに、1日も早く保護者の負担を解消し、安全でおいしい給食を再開できるように強く要望しました。

問 新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響をどのように把握しているか。また、将来に向けた独自の活性化策を伺います。

答 館山商工会議所の「新型コロナウイルス感染症の影響に関する緊急調査」では売上等のマイナスの影響があると回答した業者が88・4%。観光業においては4月5月の入込は8割から9割減。農業では館野、豊房地区のいちご狩り

園が予約キャンセルにより閉園。水産業では活魚、鮮魚や高級な魚介類の価格下落などの影響がありました。

将来に向けた館山市独自の活性化策は、前澤友作館山応援基金を活用し、館山市中小企業融資制度の「新型コロナウイルス感染症対策資金」や「中小企業等事業所家賃支援事業」を実施。また、引き続き食のまちづくりの推進に取り組み、拠点施設の整備を検討するなど、ソフト面とハード面において、館山の食の恵みを地域内で流通させる環境を構築します。

解説 このほか、国の第二次補正予算による地方創生臨時交付金活用への質問について



買い物客でにぎわう「館山まるしえ」

でも、館山市の活性化と産業振興のための重要施策は何かを明らかにしたいとの趣旨で質問を行いました。

新聞報道では、4月の南房総地域の観光入込客数は90・3%減、宿泊人数は93・4%減と壊滅的な状況となり、観光立市館山としては臨時交付金を活用して、事業者がこれまででの事業実績を超えられるような新たな成長戦略を構築するチャンスと述べ、さらに、食の流通拠点構想が示されて5年が経過する中で、計画内容が市民に十分な理解を得ていないことから、拠点の機能、コンセプトを広く示すことを要望するとともに、建設予定地で開催される館山まるしえ出店者や来場する市民の拠点づくりへの期待が大きいことを述べました。

市有財産管理

市民の大切な財産「旧鳩山荘」 早期和解と修繕・保全を



秋山 光章議員
5期目・73歳・大井
市民クラブ
建設経済委員会委員

問 旧鳩山荘の賃貸契約の更新が行われず、借家人保護の観点から法定更新となつている経緯を伺います。

答 現在の賃貸人と平成12年7月から賃貸借を契約し、5年更新により平成27年6月までは合意により契約を更新していましたが、平成27年6月以降、更新ができておらず、借地借家法による法定更新となっております。

解説 旧鳩山荘は、平成26年10月の台風により大きな被害を受け、その修繕費用等を巡って双方の合意がつかず、係争中となっております。

昨年、台風15号で再び被

災し、現在も修繕に至つておらず、早期和解と市民の大切な市有財産の保全に努めるよう要望しました。

地域経済対策

企業融資の増額と 棧橋フルスペック化 早期実現を

問 市独自の緊急経済対策として、前澤友作館山応援基金を活用した中小企業融資事業の増額はできませんか。

答 多くの事業者や金融機関から融資枠の増額への要望も受けており、予算を増額する方向で検討します。

問 前澤友作館山応援基金は、館山夕日棧橋の機能強化への活用等の方向性が示されましたが、館山港湾振興ビジョンで描かれた2車線化等、その実現に向けた取組について伺います。

答 積極的なポートセールスによる様々な船舶の寄港実績を積み重ねながら、棧橋の機能強化に係る要望活動を継続していきたいと考えています。

解説 各事業者からの要望

が高い中小企業融資事業の追加補正とともに、前澤氏が興味を示している館山のマリーナの基盤や道筋を作る

被災住宅 支援

被災住宅の応急修理費用支援 支援事業期間の延長を



長谷川 秀徳議員
1期目・58歳・船形
たてやま21・緑風会
建設経済委員会委員

問 現時点での事業申込件数・修理完了支払い済件数を伺います。また、再度の支援事業期間の期限延長を伺いたただけますか。

答 5月末現在、申込件数は3千813件で、修理完了支払い済件数は1千253件です。事業期間の延長については、千葉県を通じて国に要望しているところです。

解説 5月末現在で、修理完了支払い済件数は1千253件という事は、2千560件の被災住宅がまだ修理が完了していない事になり

ためにも、棧橋のフルスペック化の早期実現を強く要望しました。

空家対策

危険な空家に対する 行政指導の早期対応を

問 5月12日、川名地区において、館山市で初めて行われた特定空家の略式代執行について、略式代執行に至った経緯と解体撤去後の土地の取扱いについて伺います。

答 経緯については、地元区より倒壊しそうな空家に対し相談があり、指導・勧告・命

令の通知を行いました。所有者が亡くなり、相続人が存在しなくなったことや、倒壊した場合交通量の多い前面道路に多大な影響を及ぼす恐れが高いことから略式代執行を実施しました。



略式代執行によって解体された空家

土地の取扱いは、解体経費を館山市が負担していることから、利害関係人として財産管理制度を活用し、かかった経費の回収を検討しています。

解説 空家の解体撤去の行政代執行は、最終的な手法であり経費と時間がかかります。空家の管理は、基本的に所有者が適切に管理に努めなければならぬものであり、今後危険な空家に対して行政指導を行うとの事ですが、早期の対応を望みます。

長期休業
学習指導

長期休業は大きな負担 より良い学習指導の工夫を



鈴木 ひとみ議員
1期目・61歳・佐野
新政クラブ
文教民生委員会委員

境のない家庭には、学校のパソコンを使用できるような準備が必要です。

解説 長期休業は、子どもにも保護者にも大きな負担でした。子どもたちの様子を丁寧に見守って欲しいと考えます。長期休業中でも、子どもたちの顔を見て指導する工夫が必要です。

問 長期休業中に児童生徒に問題は生じなかったかを伺います。
答 生活リズムが乱れる傾向にありました。早い時期からの分散登校で通常のリズムを取り戻せるよう指導しました。

問 今後の新型コロナウイルスの再流行または自然災害による長期休業となった場合に備えてどのような準備をしているかを伺います。
答 GIGAスクール構想に向け、児童生徒全員にタブレット型パソコンを配置するための準備を行います。再度、学校が長期休業になった場合は課題提供とインターネットでの学習教材の紹介をします。インターネット環

高齢者への生活支援

地域の感染状況に応じた 高齢者の日常生活の維持を

問 長期自粛中の高齢者の生活状況をどのように把握して対応してきたかを伺います。
答 通いの場の仲間、地域包括支援センターや介護事業所が個々の状況に応じて対応しました。また、市職員

解説 様々な方法による見

守りが行われたのは、これまで培われてきた人の繋がりのおかげです。
今後、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に襲

われた際、館山市内や安房地域の状況により、子どもたちや高齢者の日常生活はできるだけ維持して欲しいと考えます。

ワンマン化対策

安全・安心な運行に向けて JR・自治体との協議の場を



鈴木 順子議員
8期目・70歳・下真倉
社会民主党・文教民生
委員会副委員長

期は未定と伺っており、館山市としてはワンマン化に関するそのメリット、デメリットについて情報収集に努めていき、安全、安心に鉄道を利用していたかどうかを第一と考えています。また、館山駅は、鉄道、高速バス、路線バス等をつなぐ重要な結節点として、交通事業者や近隣市とも連携し機能強化などに取り組んでいきます。

問 来春以降のJR内房線において日中の運行がワンマン化されると聞いたが、館山市としてどう捉えているか、伺います。
答 JR東日本からは、ワンマン運行可能な新型車両の導入について、現在の運行体系を維持しつつ、乗降確認カメラなどで安全を担保し車いすやベビーカーのためのフリースペースや大型洋式トイレを備えバリアフリー化された車両でサービス向上を図ってきたい、ワンマン化の導入時

児童虐待防止

市職員の専門性の向上 と増員を

問 後を絶たない児童虐待による死亡事故が続いているが、館山市での相談や通告などの傾向や防止に向けた取組を伺います。
答 昨年度の新規受付相談件数は83件で、学校からの通告、児童相談所からの照会、当事者、家族、親戚からの相談、その他の順に多く、要保護児童対策地域協議会において適切な対応を図り、関係機関と情報共有しながら防止に努めています。

解説 法改正に伴い、児童相談所長の権限が強化されましたが、活かしきれていない状況を指摘するとともに、児童相談所がない館山市のよいうな自治体では、職員の専門性の向上や増員が求められています。

海の観光振興策

釣り教室の常設化など
館山夕日桟橋の活用を



瀬能 孝夫議員
3期目・62歳・佐野
公明党
文教民生委員会委員

問 海を活用した観光施策の計画・構想等を伺います。
答 本市には近隣市町にはない、クルーズ船が寄港できる館山夕日桟橋があります。しかし、平成14年に館山港湾振興ビジョンで示された

計画に比べ、その規模が大幅に縮小されていることから、国・県に対し整備の促進を要望しており、多様な船舶の誘致や海路の充実を推進します。また、「渚の駅“たてやま”の機能強化により交流人口の増加を図ってきました。今後情報提供を行うことで、来訪者の周遊性の向上と滞在時間の拡大を図り、民間団体が開催する「北条海岸ビーチマーケット・ウミホタ

ル観察会・アマモ場再生活動」など、海辺のにぎわいを創出するイベント等を促進することにより観光振興に繋げていきたいと考えています。

解説

観光振興に資する地



館山夕日桟橋

域資源を開拓し、来訪者の増加を図る施策が重要です。今後、更に海とマッチしたシンボルロード沿線の景観形成について、海鮮市場構想等を確認しました。

館山夕日桟橋の活用ではクルーズ船客も視野に、釣り教室の常設などは集客・収益が期待でき、夏なら海水浴も楽しめる導線の構築等を訴えました。

市内の長い海岸線は磯や砂浜など魅力ある一方で、漁業権との関係から磯遊び等は禁止ですが、磯への入場料を設け開放するなど、漁協と観光へ向けた協議の推進を

求めました。他にマリーナ計画、いかに釣り場の設置等も取り上げましたが、これらも漁協側の収益に繋がる施策であると考えます。

海水浴場等で原則禁止のバーベキューや、マナーが問題になっている水上オートバイなどについても、快適に使用できる施設や環境を整えていく必要性と、併せてマナー向上に資する施策をセッットで考える重要性について、各地の事例等を参考に検討してほしい旨を要望しました。

未来に残したい館山の風景
表紙写真を募集

議会だよりの表紙写真を募集します。あなたの写真で表紙を飾りませんか。

□募集する写真

四季折々の風景や祭り、行事など、館山市内で撮影された季節が感じられる写真

□応募資格

館山市在住、在勤または在学の方

□選考方法

議会報編集委員会で審査を行い、選出します。応募がない場合や採用写真がない場合は、委員会で撮影した写真を使用します。

□応募方法

作品に撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送（CD等に保存）、または電子メール（受信の都合上、1～3MB）で議会事務局へお送りください。詳しくは、館山市議会HPをご覧ください。

YouTube
市議会を動画配信



本会議の様子をYouTube(ユーチューブ)で配信しています。

自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継(ライブ動画)や録画(生中継終了後2日程度後から概ね2か月間)で視聴できます。

9月定例会の日程

- 開会日：8月31日(月) 午前10時～
- 一般質問：9月 3日(木) 午前10時～
- 9月 4日(金) 午前10時～
- (予備日)：9月 7日(月) 午前10時～

議会報告会
実施方法を検討しています

例年、秋に実施している議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施方法を検討しています。

新型コロナ感染・経済対策 執行部と緊急ミーティング

4月7日に発令された7都道府県「緊急事態宣言」等を受け、同月13日に議長及び建設経済委員会（委員長・副委員長）と執行部との緊急ミーティングを開催しました。その後、各会派から8分野・124件に及び質問等を取りまとめ、執行部へ提出するなど、臨時会や定例会において、新型コロナ対策に関する議案等を慎重審議しました。



全国市議会議長会 本橋議員25年勤続表彰

本橋亮一議員が、議員在職25年の永年勤続で全国市議会議長会から特別表彰を受け、6月12日の本会議において、太田副議長から表彰状が伝達されました。



建設経済委員会 請願・山本地区を現地確認

山本地区の^{いっすい}溢水対策に関する請願を受け、所管する建設経済委員会では、委員会審査を前に、請願者からの状況説明や現地を確認しました。



議員有志が花がら摘み・切り戻し 市役所玄関前の花壇を手入れ

梅雨の晴れ間となった第4回臨時会終了後、市議員有志によって3月に植栽した市役所玄関前の花壇の手入れを行いました。

満開となった5月の「花がら摘み」に続き、この日は、新しい強い芽を出すための「切り戻し」を行いました。初秋には再び満開の花々が咲き、子どもたちの通学路を彩ります。



請願とは 請願は、みなさんが市政に関して、市議会に直接要望や意見がある時に、議員の紹介により、その職務に関する事柄について文書で希望を申し述べるものです。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本年度常任委員会をはじめ各委員会人事は昨年と同様となりました。そのため、議会報編集委員会委員も同じメンバーで二年目となります。読者の皆様に読みやすく、わかりやすい「議会だより」づくりを目指し、委員一同他市の資料も参考にしながら協議を重ねています。

市議会では、少しずつですが以前のように戻す方向で進んでいます。今回、議案を常任委員会に付託し、委員会内で慎重に審議を行いました。「緊急事態宣言」が解除されたとはいえ、新型コロナウイルスの感染拡大が収束したわけではありません。大変ですが、新しい生活様式に沿った暮らし方でガンバりましょう。

（石井敬之）
議会報編集委員会

石井敬之 委員長
石井敏宏 副委員長
望月 昇 委員
鈴木正一 委員